

大会宣言

高知県の林業における労働災害は、現場で働く就業者の安全意識の向上に伴い、減少傾向といえる。昨年は10年前と比較し、約半数まで減少した。とはいえ、いまだ年間100名近い労働者が被災し、その中で4名の尊い命が犠牲となっている。

高知県は、森林面積が約84%と全国でも有数の山の国であり、人々が長い間豊かな森林を守り育て、水源を守り、暮らしを営んできた。

私達は、先輩から受け継いだこの豊かな森林を生かし、今後の高知県経済を牽引する重要な産業に従事しているとの志に立ち、日々努力しなければならない。

本大会において、人命の尊さと安全な服装・装備、危険予知活動などの重要性について改めて認識を深めた。

よって、私達は、死亡災害の根絶を肝に銘じて、皆の模範となる服装・装備を着用し、安全活動に積極的に取り組み、家族が安心して暮らせ、若者にとって魅力ある林業づくりに努力邁進することをここに宣言する。

平成 27 年 7 月 28 日
林業安全大会 in 須崎